

事業報告

平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

1. 庶務関係

(1) 会員の状況（27.3.31 現在） () 内前年同期増減

ブロック	正会員	学生会員
東北・北海道	124 (-2)	4 (-1)
関東	473 (+13)	38 (+1)
東海・北陸	139 (-10)	7 (-7)
近畿	273 (+1)	29 (-2)
中国・四国	143 (-3)	30 (+13)
九州	122 (+7)	8 (+3)
海外	6 (±0)	0 (±0)
合計	1280 (+6)	116 (+7)

団体会員 183 団体、賛助会員 50 団体、名誉会員 6 名、顧問 3 名

(2) 大会の開催

一般社団法人日本調理科学会平成 26 年度大会

平成 26 年 8 月 29 日（金）、30 日（土） 県立広島大学

(3) 研究の奨励及び研究業績等の表彰

学会賞 1 名、奨励賞 1 名、功労賞 5 名の表彰

(4) 会議の開催

1) 一般社団法人日本調理科学会平成 26 年度代議員総会

平成 26 年 6 月 1 日（日）お茶の水女子大学

2) 理事会	4 回	5) 学会賞選考委員会	2 回
3) 編集委員会	6 回	6) 規程委員会	1 回
4) 情報管理委員会	2 回	7) 刊行委員会	3 回

2. 企画・広報関係

年次大会を中心とする企画・広報を行った。

3. 常置委員会関係

(1) 編集委員会 『日本調理科学会誌』の発行 年 6 回発行 A4 判

第 47 巻 第 2 号 1,800 部、第 3 号 1,800 部、第 4 号 1,800 部、第 5 号 1,800 部、第 6 号 1,800 部

第 48 巻 第 1 号 1,800 部

編集・刊行

① 論文投稿状況（26. 4. 1～27. 3. 31）

報文 42 編、ノート・資料 15 編、計 57 編

② 論文審査状況

区分	掲載済	印刷待ち	著者取下げ	却下	審査・訂正中	計
25 年度投稿	31	1	2	2	1	37
26 年度投稿	7	9	4	11	26	57

③ 学会誌 47 巻 2～6 および 48 巻 1 号掲載発行状況

区分	2 号	3 号	4 号	5 号	6 号	1 号	合計
報文	1	4	2	0	4	2	13
ノート・資料	3	2	1	3	3	4	16
総説	0	1	1	1	1	1	5
講座	1	1	1	1	1	1	6
教材研究	1	1	1	1	1	1	6
クッキングルーム	1	1	1	1	1	1	6
トピックス&オピニオン	1	1	1	1	1	1	6
新刊紹介	0	1	0	0	0	2	3
ページ数	60	76	43	41	78	78	376

(2) 情報管理委員会

- ① 情報管理委員会を開催し、ホームページ等の管理、運用を行った。
- ② 平成 26 年度大会演題登録はアトラス社の PASREG を利用して行った。
研究発表要旨を J-Stage にて公開した。
- ③ 学会誌の電子ジャーナル化を行った。
2009～2011 年の学会誌(42 巻 1 号～44 巻 6 号)のアーカイブ化を行い、アーカイブ分の公開が終了した。
- ④ 編集委員会と連携して、平成 26 年 4 月より、論文の web 投稿、査読システムを導入した。

4. 渉外関係

- (1) 日本学術会議協力学術団体として生活科学系コンソーシアムの活動を行った。
- (2) 下記の関連学協会と事業の共催、協賛、情報交換を行った。
(一社)日本家政学会、日本官能評価学会、日本家庭科教育学会、日本食生活学会、(社)全国調理師養成施設協会、食品の物性に関するシンポジウム、日本熱測定学会、日本高圧力学会、日本熱物性学会、(一社)日本レオロジー学会、(公社)日本冷凍空調学会、日本食品・機械研究会、(公財)不二たん白質研究振興財団、食品ハイドロコロイド研究会、(財)日本食生活文化財団、その他の学協会

5. 研究委員会関係

- (1) 「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」は、根菜類や芋を利用したメニューを開発し、『災害時 炊き出しマニュアル』東京法規出版の改訂版に向けて準備した。
- (2) 「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会」は、平成 24 年～25 年度特別研究「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」の目的にそって、参加者を募り、家庭料理の聞き書き調査を行い、調査資料リストおよび H24～25 年度研究報告書を作成した。
- (3) 「加熱調理研究委員会」は、大量調理で余熱を利用することの有効性に関する研究活動を行った。

6. 支部関係

次ページに掲載

支部事業報告

支部	日時	活動内容
(1) 東北・北海道	H26年4月10日 H26年5月23日 H26年5月30日 H26年6月7日 H27年2月13日 H27年2月23日	第1回支部事務局役員会 (郡山女子大学) 第2回支部事務局役員会 (郡山女子大学) 第3回支部事務局役員会 (郡山女子大学) 役員会・支部総会 (天栄村プリティッシュヒルズArmory研修室) 試食会 (天栄村プリティッシュヒルズArmory「Falstaff Pub」) 第4回支部事務局役員会 (メール会議) 第5回支部事務局役員会 (メール会議)
(2) 関東	H26年5月17日 H26年7月26日 H26年11月1日 H27年2月27日	第1回役員会 (聖徳大学) 第2回役員会 (聖徳大学) 定期支部総会、講演会 (神奈川工科大学) 講演テーマ「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 嚥下調整食分類2013」 演題1.「『嚥下調整食分類2013』作成経緯と食事分類の解説」 東京医療保健大学 小城明子 氏 演題2.「とろみ分類の解説と『嚥下調整食分類2013』の臨床における活用」 国立国際医療センター 藤谷順子 氏 第3回役員会 (上海菜館) 春期講習会 (東京ガス銀座 Studio + G GINZA) I. 講演会: 講演「てんぶら近藤の天ぶらの魅力を解析する」 東京家政大学 峯木真知子 氏 解説「ごま油の神秘」 竹本油脂 (株) 平野正真 氏 II. 実演と講習会: 実演 てんぶら近藤 近藤文夫 氏 第4回役員会 (東京ガス銀座 Studio + G GINZA) 第5回平成27年度大会実行委員会
(3) 東海・北陸	H26年7月5日 H27年3月7日	役員会・支部総会・講演会・研究発表会 (名古屋学芸大学) *講演「長寿社会の健康学—栄養改善—口腔機能向上による健康寿命延伸の試み—」 須崎尚氏 (名古屋学芸大学 管理栄養学部教授) *研究発表会 演題数: 13題 役員会 (名城大学名駅サテライト)
(4) 近畿	H26年6月14日 H26年9月28日 H26年12月13日 (年度内)	第46回支部総会と講演会 (園田学園女子大学) 講演会「鯨食文化と私たち—資源の持続的利用をめざして—」 浜口尚氏 (園田学園女子大学短期大学部) 研究会132 (大阪樟蔭女子大学) テーマ1「熟年夫婦円満の秘訣は食にあり」 石蔵文信氏 (大阪樟蔭女子大学) テーマ2「食と住まいの情報発信拠点 ハグ・ミュージアムのご紹介 ～大阪ガスのエネルギー環境教育の取り組みとともに～」 吉田聡氏 (大阪ガス株式会社お客さま部) 第41回研究発表会および分科会報告 (京都華頂大学) 演題数: 9題 その他: 煮る分科会、炊飯分科会、焼く分科会、揚げる・炒める分科会、食文化分科会、 高齢と食分科会の6研究分科会において活動を行った。
(5) 中国・四国	H26年4月12日 H26年10月3日 H26年10月4日	定例役員会 (ピュアリティまきび) 支部大会: 役員会 (サテライトキャンパスひろしま (広島県民文化センター内)) 情報交換会 (レストラン「レガーレディアクアパツツァ」) 支部大会: 総会・勉強会・講演会 (広島女学院大学) 勉強会「柑橘フラボノイドの特性理解と有用性: レモンを中心に」 武藤徳男氏 (県立広島大学副学長/生命環境学部教授) 講演会 (日本家政学会中国・四国支部会と合同開催) 「野菜・果実のペクチン質に関する調理科学的研究」 講師: 洲上倫子氏 (福山大学生命工学部教授/岡山県立大学保健福祉学部名誉教授) 「尾道式空き屋再生術」 講師: 豊田雅子氏 (NPO法人尾道空き屋再生プロジェクト代表)
(5) 九州	H26年6月7日 H26年6月8日 H27年3月14日	第1回支部幹事会 (沖縄県立博物館・美術館) 支部総会・講演会・研究発表会および試食会 (沖縄県立博物館・美術館) *講演会: 「琉球菓子とブクブク茶」 講師 安次富順子氏 (沖縄調理師専門学校校長) *研究発表会 演題数: 4題 *試食会: 「沖縄の食材を用いた創作フレンチ」 (那覇市「ザ・ナハテラス」) 見学会: 「沖縄の食素材を訪ねて」①ぬちうなー (株式会社 ぬちまーす <製塩業>) ②富久屋 (沖縄料理) ③端泉酒造 (泡盛工場見学) 第2回支部幹事会 (中村学園大学)